資料 2-1 学校整備にあたってのコンセプト 計画案コンセプト 平面計画 ・学校、地域、神社の緑がつながる学校 【配置】 【平面】 ・ラーニングセンター (図書 + 学習スペース) を中心に多様な学習を実現 ・既存の神明中の配置と同じL型に校舎を配置 ・管理諸室を敷地の中央に配置し、校舎、校庭共の管理・見守りしやすい配置 ・生徒それぞれに好きな場所、好きな居場所がある学校 ・校庭に終日日影を落とさない、明るく使いやすい校庭を ・階ごとに、1F管理・地域、2F特別教室、3,4F普通教室を明快にゾーニング ・地域が学校に関わりやすい学校(地域連携が可能な学校) 実現する校舎配置 ・学年ごとのまとまりと、他学年エリアを通らなくても教室移動が可能な配置 ・充実した運動ができる学校(大きな体育館 /145mトラック /50m直線走路) ・校舎から神社の緑を感じられる神明らしい校舎配置 ・普通教室エリアを 3.4F にまとめ、将来的に特別教室を地域開放エリアにしやすい配置 北門 | : 改築基本方針の該当番号 建築基準法・杉並区条例等への対応事項 :よりよい学校・よりよい計画を目指した配慮事項 ●校庭の広さをできるだけ確保 例 現行法規・条例に従い、緑地の確保しつ つ、屋外倉庫等を校舎側に整備するな どの工夫で校庭を可能な限り校庭を広 くできるよう配慮しています。 ●杉並区みどりの条例・東京都緑化条例 敷地の約16%を緑化(地上または屋上) ●校庭の砂埃に配慮 が必要となります。 杉並区でも実績のある水はけ良く砂塵 が飛散しにくい土系舗装を検討します。 給食室 公室真鯛 公 -1000 ●建築基準法56条の2(日影制限) 前室 57557 2階高さの建物を建てるための最低後 V,VII 退距離。後退した部分は校庭を少しで ●体育館上部に窓 ●校庭を見渡せる職員室・校長室 も広げるために緑化しています。 体育館は半地下(-4.5m)となりますが、 管理上、職員室から校庭を見渡せるこ EΞŦΞ3 1Fに窓を設けることで自然換気・採光が とが重要と考え配置しています。 可能な計画です。 ●セキュリティラインで地域利用配慮 ●昇降口で神明らしさを感じる 地域利用諸室を西側にまとめて配置し ●校庭から出入り可能な保健室 昇降口の上部を安全に配慮した吹抜け セキュリティラインを設けて地域利用が 校庭から出入り可能で緊急車両も寄り とすることで、学校に入るとすぐに神社 マンホールトイレ(10基) 駐輪45台 しやすい学校とします。 の緑が見える、この場所らしい、神明ら 付きやすい位置に配置しています。 保健室 予備P 7. しい学校の計画です。 ●昇降口・正門が視認できる事務室 セキュリティや来客対応に配慮した位 機械室 置に事務室を配置しています。 事務倉庫 Vq X ±0 ±0 相談 用務室 室 開放 会議室 ●正門から直接校庭へ出入可能 □ はなったが 進路指導室 会議室 昇降口 校舎を経由せず校庭へ出入可能でイ ベント時等の利便性に配慮します。 搬入車両 開放入口 1,000 5,781 5, 770 5, 770



●地域と育てるさくら広場 I,VII 地域と育てる桜の木を新植した、 玄関と一体的なさくら広場。駐車 場を隣接し防災物品や体育館の 用具搬出入を容易にします。

学校 器具庫

△-4500

開放

(_0_)

EV

学校防災

III,VI,VII ●フレキシブルに避難時・将来対応 地域エリアは明快なゾーニングとしています。 特殊な設備が必要のない室を地域エリアと隣 接して配置。避難所のバリアフリー対応・感染者 対応や、将来の地域転用に配慮した計画です。

●防災倉庫は体育館と同じ階 I,VII

体育館との連携を考慮し、防災

倉庫を計画しています。

●南側外壁のセキュリティ 外部からは直接出入できない計画。 開放入口で入退館の管理を行います。

●昇降口前の視線に配慮した塀 昇降口からの視線が近隣住宅との見合 いが起きないよう配慮しています。

